

株式会社T様

増え続けるサーバ対策・ビジネス継続性の実現

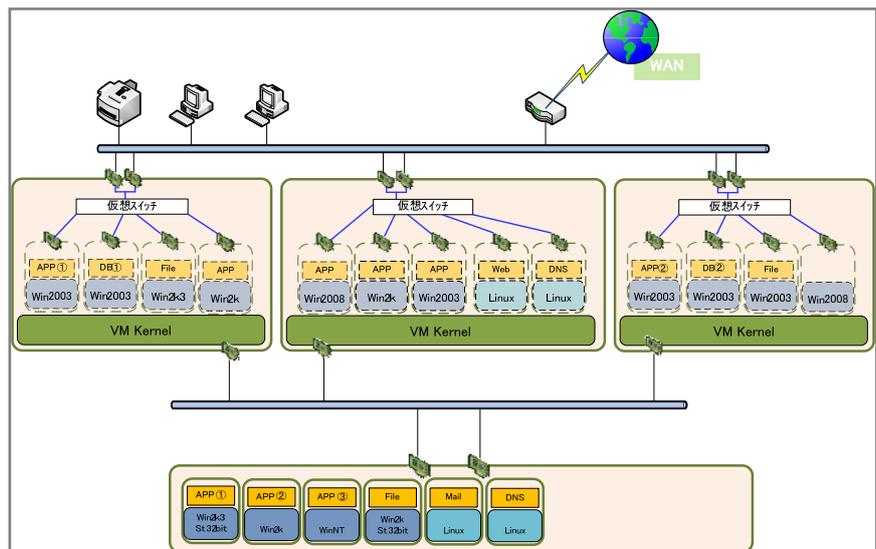
○キーワードは増えるサーバの管理及び、サービス停止の回避

この会社様では、サーバが14台存在し（タワー型、ラック型混在）しかもデータセンターで運用をしていました。2ラックを契約しており、ランニングコストが問題になっていました。

そこで、VMware社のESXを導入し、ラック1本化に成功。さらにVMware HA・VMware DRS(負荷分散機能)で、サーバのビジネス継続性を向上させました。

しかし、稼働中のサーバの中にはリース期間中のものがあつたが同社では、リース期間が残っているサーバを入れ換えてでも、充分なコスト削減効果が見込めると判断。VMwareによる仮想統合に踏み切った。

現在では、ランニングコストが60%程度削減され、管理費用も50%は削減されたと、担当者は話しています。



DRS・HA (高可用性)

VMware DRS は、リソース プール全体の使用率を継続的に監視し、ビジネス ニーズに合わせてリソースをインテリジェントに調整します。

I. 優先度がもっとも高いアプリケーションに IT リソースを動的に割り当て。ルールとポリシーを作成して、仮想マシンにおけるリソース割り当ての優先順位を指定します。

II. ビジネス組織における IT の自律性の確保。リソース プールによるハードウェア使用率向上を実現しながら、専用 IT インフラストラクチャを各ビジネス部門に提供します。

III. IT 部門がハードウェア リソースの統合管理を行う一方、各ビジネス部門は割り当てられたリソース プール内で、仮想マシンの構築および管理を行うことが可能。

ライブ マイグレーションはエンド ユーザーに対して透過的に行われるため、この IT サービスに必須となります。

VMware DRS はクラスタ内の仮想マシンの移動に VMware vMotion を使用するため、エンド ユーザーに対して完全に透過的に実行されます。他社製品にライブ マイグレーションなしでワークロードの調整を自動化するものがありますが、エンド ユーザーへのサービスに中断が発生するため、結局機能としては不十分なままです。

お問合せ先

 株式会社evolt

E-mail : sales@evolt.co.jp
URL : <http://www.evolt.co.jp/>

〒101-0031
東京都千代田区東神田1-17-10
東神田シティプラザ B1F
TEL : 03-5835-5385